

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】令和2年9月3日(2020.9.3)

【公開番号】特開2018-40799(P2018-40799A)

【公開日】平成30年3月15日(2018.3.15)

【年通号数】公開・登録公報2018-010

【出願番号】特願2017-171651(P2017-171651)

【国際特許分類】

G 01 N 33/48 (2006.01)

【F I】

G 01 N 33/48 C

【手続補正書】

【提出日】令和2年7月27日(2020.7.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0047

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0047】

1a)で調製した試料の全てから、部分量をAPTTの測定のために使用した(アッセイ結果1)。1a)で調製した試料の各々の第2の部分量を $133000 \times g$ で1時間遠心分離し、脂質枯渇相をAPTT測定のための試料として使用した(アッセイ結果2)。遠心分離が影響を有しない場合、遠心分離した一定分量のうちの脂質枯渇相は、遠心分離していない試料と同じ分析物量を含有するはずである。各試料の2つのアッセイ結果(秒での凝固時間)を互いに比較し、%での相対的差を計算した $100 \times (\text{アッセイ結果1} - \text{アッセイ結果2}) / \text{アッセイ結果2}$ 。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0058

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0058】

2a)で調製した試料の全てから、部分量をプロテインCの測定のために使用した(アッセイ結果1)。2a)で調製した試料の各々の第2の部分量を $133000 \times g$ で1時間遠心分離し、脂質枯渇相をプロテインC測定のための試料として使用した(アッセイ結果2)。遠心分離が影響を有しない場合、遠心分離した一定分量のうちの脂質枯渇相は、遠心分離していない試料と同じ分析物量を含有するはずである。各試料の2つのアッセイ結果(基準量の%)を互いに比較し、%での相対的差を計算した $100 \times (\text{アッセイ結果1} - \text{アッセイ結果2}) / \text{アッセイ結果2}$ 。